

## 1 これまで3年間（H20～22年度）の取組について

### 1 児童・生徒の状況

#### (1) 学習事項の定着（学力）について

##### （成果）

H21年度とH22年度の全国学力・学習状況調査を比較すると、  
わずかではあるが、全体の学力を向上させることができ、基礎的学習内容の定着を図りつつある。  
基礎学力定着に欠かせない学習に対する姿勢が、少しずつ整ってきている。  
学力低位層（正答率40%以下の児童生徒）の割合を少し減少できた。

##### （課題）

学力低位層（正答率40%以下の児童生徒）の割合をさらに減少させる。  
良い学習規律を浸透させ、集中して意欲的に学ぶ姿勢を確立させる。

#### (2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

##### （成果）

学校においてさまざまな出会いの場をつくる中で、将来展望を持つなどの「ゆめ力」は育めた。  
朝ごはんを食べることや毎朝同じくらいの時間に起きるなどの「自分力」は着いている。  
友だちとの約束を守り、人の役に立つ人になりたいと考える「つながり力」は育ってきている。

##### （課題）

達成感や充実感を得る中で忍耐力を育み、粘り強く努力する力（「ゆめ力」）を育成する。  
学習規律や生活規律を定着し、自分をコントロールできる力（「自分力」）を育成する。  
挨拶や人の助けをするなど、他者を尊重し積極的に人間関係を築く力（「つながり力」）を育成する。  
意欲的に学ぶ力（「学び力」）を育成する。

### 2 学校の取組

##### （成果）

努力目標推進委員会において、学力向上担当者を中心として組織的な取組を進めてきている。  
算数科において、問題解決学習を中心とした授業研究と校内研修を実施し、個々の授業力を高めた。  
ノート指導の仕方や、児童の考えを取り上げ高め合う方法などを研究し、授業改善を図った。  
月2回程度、朝の時間に基礎学力タイムを設定し、計算力育成に取り組んだ。

##### （課題）

全教職員が共通理解のもと、同じように指導する学習規律や生活規律を決め、定着を図る。  
人権教育や支援教育の考えを取り入れ、全ての子どもが認められ大切にされる学級づくりを行う。  
校長の強いリーダーシップのもと、学力向上担当者を中心として、授業改善と授業力向上に取り組む。  
学校の取組を、学校だよりなどを通して家庭や地域に伝え、啓発を行う。

## 2

## これから3年間（H23～25年度）の取組について

## 1 3年間の重点課題

重点課題	検証軸	25年度の到達目標
<b>学力向上</b> （良い学習規律や生活規律を浸透させ、学ぶ楽しさを味わわせる中で、基礎基本の力を定着させ、学力の向上を図る）	(a)全国学力・学習状況調査 (b)大阪府学力学習状況調査 (c)教職員による日常の指導・観察 (d)学校教育自己診断 (e)校内計算実態調査 (f)生活意識調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語や算数の基礎問題や記述式問題における正答率を高める。(a) (b) (e)</li> <li>・学校の授業が良く分かるという児童の割合を高める。(a) (b) (c) (d) (f)</li> <li>・学習の中で、考えをまとめて話す力を高める。(c)</li> <li>・生活の中で、漢字を使うことや目的に応じた文章を書く力を高める。(c)</li> <li>・読書が好きといえる児童の割合を高める。(a) (b) (c)</li> <li>・授業の準備をきちんとし、人の話をしっかり聴く力や態度を育てる。(c) (f)</li> <li>・決まりや約束を守るといった児童の割合を高める。(a) (b) (c)</li> <li>・自分からあいさつのできる児童の割合を高める。(a) (b) (c) (d) (f)</li> </ul>
<b>授業改善</b> （授業研究や教材研究に取り組み、全教員の授業力を向上する）	(g)研究授業や日々の授業での、教職員による観察・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業が良く分かるという児童の割合を高める。(a) (b) (c) (d) (f) (g)</li> </ul>
<b>個別支援</b> （課題の有無に関わらず、一人ひとりの児童にきめ細かな指導を行い、自己達成感や充実感を感じさせ、自分に自信を持たせる）	(a)全国学力・学習状況調査 (b)大阪府学力学習状況調査 (c)教職員による日常の指導・観察 (d)学校教育自己診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率40%以下の児童の割合を減少させる。(a) (b)</li> <li>・国語や算数、総合的な学習に対して関心や意欲を示す児童の割合を高める。(a) (b) (c)</li> </ul>

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
<p>主に、学習事項の定着・学ぶ意欲の育成のために 教職員による研究授業の実施。 算数や国語の補充・発展的学習の実施。 朝の15分間読書の実施。 (毎週火曜日の朝) (図書館ボランティアによる読み聞かせを実施) 朝の15分間学習の実施。(毎週月・木・金曜日の朝) (木曜日の朝は、ステップアップタイム)</p> <p>主に、ゆめ力の育成のために ゲストティーチャーや地域の人を招いての体験学習 (総合的な学習の時間・生活科など)を実施。</p> <p>主に、自分力向上のために 基本的な生活習慣の育成。 (冊子「家庭学習の手引き」をもとに、家庭への啓発と連携) 学校全体で取り組む学習及び生活上のルールの浸透。 (学校組織力を活用し、共通理解の下に実施)</p> <p>主に、つながり力向上のために 学習時間中に発表の場を確保し、みんなで聴き合う学習を実施。 (学び合い高め合う学習と、一人ひとりを大切にした学級経営) あいさつの励行。 (登下校時のあいさつや声かけの実施、校内でのあいさつの励行)</p> <p>主に、学び力育成のために 授業改善と授業力向上を目指して、研究授業・研究会・研修会を実施し、力量を高める。 経験の豊富な教師から若手教員への伝授 (個別研修や学年部会等の活用)</p> <p>体力向上のために 体育授業を充実したり、休み時間の遊びなどをとおして、「運動することが好き」といえる児童を増やす。 茨木っ子運動を授業の中に取り入れ、体づくりを進める。</p> <p>小・中連携を進めるために 交流会や参観等のお知らせ 授業見学や授業共同研究の実施 事務の共同実施</p>	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進テーマと計画の作成</li> <li>・校内推進体制づくり</li> <li>・授業研究</li> <li>・学校全体で取り組む学習及び生活上のルールの作成、浸透 (学校組織力を活用し、共通理解の下に実施)</li> <li>・支援を要する児童への、具体的な支援内容と方法の検討、実施</li> <li>・学校教育自己診断の実施</li> <li>・あいさつ運動の実施 (児童会活動として)</li> <li>・全単元習熟度別授業の実施 (4年生算数において)</li> </ul>
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進テーマによる授業研究</li> <li>・学校全体で取り組む学習及び生活上のルールの検討、実施、家庭への啓発</li> <li>・支援を要する児童への、具体的な支援と方法の検討、実施</li> <li>・あいさつ運動の実施 (児童会活動として)</li> <li>・全単元習熟度別授業の実施 (4年生算数において)</li> </ul>
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究と授業改善</li> <li>・学校全体で取り組む学習及び生活上のルールの浸透と家庭への啓発</li> <li>・支援を要する児童への、具体的な支援内容と方法の検討、実施</li> <li>・学校教育自己診断の実施</li> <li>・あいさつ運動の実施</li> <li>・全単元習熟度別授業の実施 (4年生算数において)</li> <li>・学力向上ステップアッププランの取り組みの検証</li> </ul>

3 推進体制

